

## 公益財団法人天風会 令和4年度事業報告書（抜粋掲載）

令和4年度は、令和2年度から続く新型コロナウイルスの影響が3年目に入り、計画していた行事の一部は中止、もしくは感染予防対策を継続しながらの開催を余儀なくされました。結果として、全国各地でオンラインを併用したハイブリッド行事が定着するなど、財団事業や賛助会行事のバリエーションが広がりました。また、会員入会を促進するべく初年度会員制度を導入し、天風教義の普及強化と賛助会員増加促進に向けた取り組みを開始しました。

会員、行事、出版、印税、動画等の施策に一定の効果は見られたものの、財団事業全体の収支という側面からは非常に厳しい環境が続きました。

内部管理体制としては、事務局長交代を機に内部体制整備として職員の就労状況などを精査するとともに、外部社労士事務所も起用し就業規則等の制定準備を行い、今後の事務局職員の処遇改善に向けた方向性を探りました。

併せて、環境の変化に柔軟に対応しつつ、天風哲学、心身統一法を次の世代へと繋ぐべく、目的に合致した事業施策の具体的な企画と実行に力を注いでまいりました。

### I 公益目的事業

今年度も引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初計画されていた各行事について、中止または開催方法の変更などの検討を随時行い、状況に応じてオンラインまたはハイブリッド形式により開催した。

#### 1. 「心身統一法」普及事業

令和4年度事業計画の下、以下の行事を開催し、心身統一法の普及に取り組んだ。

##### (1) 会館行事（財団主催行事）（一部オンライン行事を含む）

###### ① 講習会（2 か月で1 クール、5 クール実施。ハイブリッド形式）

※賛助会員向けには開催月内のアーカイブ配信を実施した。

###### ② 運動法セミナー（年間10回。Zoom ミーティング形式）

###### ③ 天風哲学ビジネスセミナー

ビジネスリーダーに向けた行事として開催。（ハイブリッド形式）

テーマ：「ビジネスに活かす言葉の暗示力」

###### ④ 夏期修練会（東京会場）

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じつつ、リアルの夏期修練会を復活させた。

開催日：8月11日（木）～14日（日）

###### ⑤ オンライン特別行修会

前年に引き続き、Zoom ウェビナーによるオンライン形式で4日間開催した。

開催日：9月16日（金）～19日（月）

###### ⑥ 秋期瞑想行修会（東京会場）

夏期修練会（東京会場）の復活と軌を一にして開催した。

開催日：11月5日（土）～6日（日）

⑦社会人現役セミナー

現役世代向け天風哲学入門を目的に天風会館で開催した。集客にはLINE公式アカウントからの案内も活用して若い層への浸透を図った。

テーマ：「VEDAの力を身につける！」特別講演：佐々木洋花巻東高校野球部監督

開催日：12月10日（土）

⑧TC-WOMAN

女性に向けて心身統一法を普及する目的で、オンライン教室をZoomミーティング形式で2クール開催、1月には新春講演会を天風会館にて開催した。

TCからの派生行事として、「キャリアアップ師との対話」朗読と解説を行う「希望の言の葉」を年2回開催した。

⑨医学・科学スタディ

最新の医科学的な知見を学び、その内容と天風哲学・心身統一法の関係を見出す目的で、老化研究の第一人者の京都大学近藤祥司准教授の講演、財団講師によるパネルディスカッションの二部構成にてハイブリッド形式で開催。

開催日：3月11日（土）

(2) 委託行事

全国の各賛助会へ運営を委託し修練会を開催した。財団主催行事と同様に、新型コロナウイルス感染症の感染状況を睨みつつの対応となった影響で開催自体見送る賛助会もあった（集合型で実施した行事は、財団が制定したガイドラインに従って感染防止対策に努めた）

鎌倉春期修練会（5月3～5日）、神戸夏期修練会（7月12～15日）

(3) 賛助会行事（後援行事含む）

各賛助会で自主的に開催される講習会・行修会等について、運営指導や助言を行った。

(4) 外部講演会

①よみうりカルチャーセンター 講座「運命を拓く」中村天風の教え

関東6会場で開催した。

②西宮市公民館活用促進プロジェクト

神戸の会に運営を委託し、10月～3月の第3金曜日にハイブリッド形式で開催した。

③企業2社からの要請により講師を派遣し社員研修を実施した。

(5) 賛助会への助成・運営支援等

①全国19賛助会に対して、活動補助金を配賦した。

②賛助会連絡会議、賛助会代表者会議を夫々1回開催した。（オンライン）

2. 調査研究活動

中村天風「心身統一法」の教授法の調査研究として、主に以下の活動を行った。

①教務委員会の開催（6回）

②講師ライブラリーの運用

- ③研修員選定審査会および研修員研修会の実施
- ④講師養成勉強会の実施
- ⑤「心身統一法」行修リーダーの審査と育成
- ⑥行事プログラムの監修
- ⑦出版物の監修
- ⑧教学的研究

### 3. 出版広報・コンテンツ事業

出版及び広報事業として、以下の活動を行った。

- ①財団出版物の企画・制作
- ②財団出版物及び監修出版物等の販売
- ③財団機関誌「志るべ」(月刊)の発行
- ④出版物の発行に向けた検討(『真人生の探究』英訳プロジェクト他)
- ⑤ホームページの運営
- ⑥広報活動 Web サイトやメールマガジン、SNS 等を活用した広報活動
- ⑦「動画・音声配信サイト」月額3,300 円のサブスクリプション配信
- ⑧「コミュニティサイト」セットアップはするも運用にいたらず。

## II 収益事業等

- ①一般社団法人アイピーシーとの天風会館5 階の賃貸契約を継続
- ②天風会館1 階と4 階を株式会社ティーケーピーに委託し、賃会議室として運用
- ③東京の会との天風会館地下1 階一室及び行事開催時にホール等利用の賃貸契約を継続
- ④飲料メーカー(5 社)と自動販売機設置契約を継続
- ⑤楽天モバイル基地局アンテナ設置

## III 法人運営に関する事項

- 1 組織 危機管理委員会において、新型コロナウイルス感染防止に関するガイドラインを作成、適宜見直しを行い、行事運営に関する指導を実施した。
- 2 会議
  - (1) 理事会を6 回、評議員会を2 回開催した。
  - (2) 各委員会及び担当理事ごとに会議を行い、各種課題の検討にあたった。
- 3 会館設備 老朽化した電気設備の入替を実施

以上